

令和4年度 第1回 県立病院運営評議会（概要）

1 開催日時

令和4年11月17日（木）午後1時30分～3時10分

2 会場

オンライン

3 出席者

委員：渡辺会長、原委員、石谷委員、安梅委員、河村委員、間庭委員、山根委員、田中委員
病院局：広瀬病院事業管理者、竹内病院局長兼総務課長、田淵係長
中央病院：廣岡院長、中川事務局長
厚生病院：皆川院長、中西事務局長

4 会議の概要

（1）開会

開会にあたり、病院事業管理者より挨拶を行った後、出席委員数を確認。
委員9名中8名の出席があるとして、会議が成立していることを宣言し開会した。

（2）議事

①会長選出

事務局提案により、渡辺委員が会長に就任

②「令和3年度県営病院事業実績及び第Ⅲ期県立病院改革プランの進捗状況について」及び「県立病院の最近の取組について」

病院局長：資料2及び資料3を説明

【質疑応答】

<委員>

来年度以降、空床補償の補助金が終了した場合の収支の予測はどうか。

<病院局>

空床補償は中央病院が11億、厚生病院が16億入ってきている。これがなければ、中央病院は赤字、厚生病院はプラスマイナスゼロ程度になると見込んでいる。

中央病院長：資料5-1、資料6-1、

【質疑応答】

<委員>

在院日数の短縮について、患者さんの反応はどうか。

<中央病院>

中にはもう少し入院できないかと言ってこられる方もあるが、全体としては理解してきてもらっている。

<委員>

シミュレーションセンターの開設について、今現在の配置予定の機器を見てみると医師向けが中心となっているようだが、看護職の人材育成について考えている部分があるか。

<中央病院>

新しく整備した資料記載の機器は主にドクター向けであるが、以前から看護師向けの教育機器、医療機器があり、東部地域の看護師向けに提供することができると考えている。中央病院で使うだけではなく、貸し出しも検討中。

<委員>

中央病院は医師の働き方改革の時間外労働規制についてB水準を目指すのではないかと考えているが、順調に進んできているか。

<中央病院>

時間外勤務を減らすべく、副院長をトップに医師の時間外削減ワーキンググループを作っている。また、鳥取県医療勤務環境改善支援センター（医師会受託）から社労士さんに来てもらって相談しながら進めている。なかなか大変だががんばっていきたい。

・厚生病院長、中川事務局長：資料5-2、資料6-2説明

【質疑応答】

<委員>

災害対策で電話交換機を地下から移設したとのこと。その他の電子カルテとか、医療機器については、何か現時点で対応するような予定はあるか。

<厚生病院>

電子カルテのサーバは5階にあるので問題ないが、CTやMRIは1階にあるので現時点では水没してしまう。

<厚生病院>

受電設備が地下にあり、3日間水没すると電源供給が止まる。現在、予備受電設備を上階に整備するための設計を出しているところ。

<委員>

薬剤師が定員を満了したとのことであるが、どのように募集しているのか。

<病院局>

試験を薬学部のある岡山、大阪で行い、時期も早くしてできるだけ受けやすくしている。

<委員>

今後始まる電子処方箋の発行をどう考えているか。県内の薬局は来年4月にはまだ応需体制ができない。

<厚生病院>

電子カルテの改良で1月から薬剤履歴が見えるようにする予定。電子処方箋の前提となるオンライン資格確認には対応しているが、医師の資格確認対応がハードルとなっている。

<中央病院>

今後周知していきたい

③次期改革プラン（経営強化プラン）について

病院局長：資料4を説明

【質疑応答】

<委員>

働き方改革の手続き等いろんなものがすごく大変そうだなと感じている。進展の様子など、今後またいろいろと教えてもらいたい。

<委員>

働き方改革について、うまくいくとよいと思っている。

(3) 閉会

議事の終結を宣言。閉会した。